

第149回福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

- 1 日時 令和4年8月26日（金）17:00～17:14
- 2 場所 危機管理センター災害対策本部会議室（ペーパーレス会議）
- 3 議事

（1）新型コロナウイルス感染者の状況等について

（保健福祉部長）

5ページ、資料1をお願いいたします。

【資料1】

昨日（25日）の新規陽性者数は2,467人で、24日から二日続けて前の週の同じ曜日を下回りましたが、引き続き、非常に高い水準で推移しております。

次に、4ページ。

8月25日現在の療養者の状況です。

入院者はこれまでで最多の586人、うち重症者が3人となっております。

療養者数の合計は27,402人、このうち自宅療養者数は26,301人でいずれも過去最多となっております。

次に、6ページ。

人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数は1,045.85人（25日現在）。

8月20日以降1,000人を超える水準となっております。

次に、8ページ。

病床使用率は77.0%（25日現在）。8月23日以降、7割を超える非常に高い状況となっております。

次に、10ページ。

人口10万人当たりの療養者数は、1,494.80人（25日現在）。これまでで最多となっております。

次に、12ページ。

保健所所在市における、人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数です。

いわき市が1,400人を超え、会津若松市が1,100人、郡山市が1,000人、福島市が900人をそれぞれ上回っているほか、すべての市において700人を上回っております。

次に、13ページ。

保健所所在市を除く各市における、人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数です。本宮市が1,100人を超え、田村市も1,000人を上回っているほか、喜多方市が900人を超え、すべての市において600人を超えております。

次に、14ページ。モニタリング指標です。

「病床の使用率」(77.0%)、「入院率」(2.1%)、「人口10万人当たりの療養者数」(1,494.80人)、「PCR陽性率」(54.8%)、「人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数」(1,045.85人)が、レベル3、「重症者用の病床使用率」(6.7%)が、レベル1となっております。

次に、資料3、16ページ。

感染不安を感じる県民の方を対象とした無料検査について、「3」の期間のとおり、9月30日まで延長することといたします。

検査の実施場所は県内207箇所に整備しており、県ホームページに掲載しております。

なお、「6 その他」に記載のとおり、経済社会活動に際して検査結果の提出を求められる場合に、検査を無料化する「定着促進事業」については、8月末で終了となります。

ただし、無症状の県民の方については、旅行、イベント参加等の際に必要な検査は、「一般検査事業」の対象として、引き続き無料で検査を受けることができるようになっております。

(2) 新型コロナワクチンの接種状況等について

(病院局長)

17ページ、資料4をご覧ください。

【資料4】

接種実績につきましては、8月25日時点で、3回目接種の回数が、1,315,619回、全人口に対する接種率は70.7%となっております。

また、高齢者や医療従事者等を対象とする4回目接種は、383,854回となっております。

右側ですが、5歳以上11歳以下の小児の接種率は、1回目が41.2%、2回目が38.2%となっております。

次に、資料中段の囲みの部分です。2回目接種完了者全員が3回目接種を希望すると仮定し算定した、いわゆる想定対象者に対する接種率ですが、3回目接種については85.7%、4回目接種については、想定対象者のうち人数の把握が可能な60歳以上の方約58万4千人を母数とした場合、60.9%となっております。重症化予防のためにも、まだお済みでない方には接種を積極的に御検討いただきたいと考えております。

次に19ページをお願いします。

9月に県が実施する大規模接種の予定について説明いたします。

オミクロン株に対応したワクチン接種が、10月半ば以降に実施されることが想定されています。

対象は、初回接種を完了した方になります。

このため、より多くの方にオミクロン株対応ワクチンを接種いただけるよう、初回接種をさらに促進したいと考えております。そこで、記載の4市において土曜日や祝日、その前日の夜間に、ノババックス社ワクチンによる接種機会を追加することといたしました。特に初回接種がまだお済みでない方やこれまで時間がとりにくかった方に、ぜひ接種を御検討いただければと考えております。予約は来週月曜日29日午前9時から受け付けをいたします。

これまででない感染拡大、医療体制の危機的状況を打開するため、速やかなワクチン接種は有効な手段の1つになります。引き続き市町村等と連携しながら、ワクチン接種促進に取り組んでまいります。

(金光教授)

現在、福島県内において病床利用率が8割弱という異常な事態に陥っております。

日本においては、どなた様も適切な医療を受ける権利を有しているものと思いますが、それがままならなくなりつつあるということでもあります。

すぐに入院出来ない方、さぞかし不安、そして心配、つらい思いをされているのかなと推察をいたします。

そういう方は、自分の親、あるいはおじいちゃん、おばあちゃんだとしたら、皆様どういふふうにお思いになるのでしょうか。

これから夏休み終わって、日常を取戻しつつあると思いますが、ぜひ皆様におかれましては、室内においては、隙間のないマスクのつけ方、そしてソーシャルディスタンスをとっていただく。そして、換気に注意するというような、基本的な感染対策をぜひ、やっていただきたいと思っております。

(知事)

全国では、今月19日に過去最多となる26万人を超える新規陽性者が確認され、今週に入っても、20万人を超える日が続くなど、依然として高い水準で推移しています。

本県においても、今月17日に初めて3千人を超える新規陽性者が発生して以降、3千人を超える日が何度も確認されており、今月の新規陽性者の累計は、既に5万人を超えました。

また、直近のゲノム解析では、感染力の強いBA.5系統の割合が97%と、ほぼBA.5に置き換わっており、感染が急激に拡大しやすい状況が続いていると考えられます。

こうした中、「福島県医療非常事態宣言」を発出して2週間が経過しましたが、今月23日以降、病床使用率が7割を超えており、コロナ患者の受入れが困難になりつつあります。

さらに、医療従事者の皆様にも、感染者や濃厚接触者となるケースが急増しており、出勤できないスタッフが1,500人を超えるなど、救急医療や手術といった、命に関わる医療への影響も出ていることから、本県の医療体制はますます危機的な状況となっています。

更なる医療体制のひっ迫を防ぐためには、新たな感染者を減らしていくことが極めて重要であり、今月31日までとしていた「BA.5対策強化宣言」の期限を9月19日まで延長することとしました。

県民の皆様には、引き続き、地域医療への負荷を減らすための御協力をお願いします。

特に、新設した「福島県陽性者登録センター」において、医療機関を受診しなくても、御自身で検査を行い、その検査結果をインターネットでセンターに送ることで、陽性者として登録いただくことが可能となっております。

23日からは受付上限を拡大し、より多くの方が御自身で登録できるようになりました。重症化リスクが低く、症状の軽い方は、是非、センターの御活用をお願いします。

また、感染者数が急激に増加しており、いつでも、誰でも感染する可能性があります。御自身が陽性になった場合に備え、数日分の食料や薬などの生活必需品をストックしておくようお願いします。

最後に、若い世代の皆様へのお願いです。

本日までに、県内で14万人を超える方が感染されています。これは、県民の約13人に1人が既に感染したということになります。特に、30代以下では、約7人に1人が感染しており、若い方ほど感染する割合が高くなっています。

症状があるにもかかわらず外出をする、知り合いだからと気を緩めて、マスクなしで会

話をする、また、大人数で長時間におよぶ飲食をするといった行動が、周囲に感染を拡げることにつながります。

感染者を減らすためにも、「自分だけは大丈夫なはず」と思い込まず、改めて自分自身の行動を振り返り、感染対策の再確認をお願いします。

また、少しでも症状がある場合は、外出を控え、人との接触を避けるとともに、場面に応じてマスクを正しく着用する、3密や混雑を避けるなど、基本的な感染対策を徹底してください。

加えて、ワクチン接種がお済みでない方は、速やかに接種していただきますようお願いいたします。

県内では短期間に非常に多くの新規陽性者が確認されるなど、急激な感染拡大が継続しており、地域医療を維持していくことが限界に近づいています。

こうした中、県民の皆様命と健康を守るため、感染症対策や医療の現場で献身的に御尽力いただいている医療関係者の皆様に、心から敬意と感謝の意を表します。

地域医療を守り、御自身と大切な方の命と健康を守るためには、この感染拡大を一日も早く抑えていくことが重要です。

若い世代の皆様を始めとする、県民の皆様お一人お一人が強い危機意識を持って、「感染拡大警報強化版」でお示しした9つの感染防止対策に取り組んでいただくよう、引き続き、御協力をお願いします。